

■米国：水圧破碎と飲料水汚染は無関係との連邦政府調査報告

2013 年 7 月 29 日付の現地報道によると、エネルギー省（DOE）はペンシルベニア州西部のシェールガス掘削地点で 1 年間にわたり実施してきた調査に基づき、水圧破碎で使用する化学物質が掘削地点近隣の飲料水用帯水層を汚染している証拠はないと結論づけた。DOE の地質学者であるリチャード・ハマック氏によれば、トレーサーを使用した調査により水圧破碎の流体は帯水層浅部より数千フィート下部に残留していたことが判明した。調査はグリーン郡掘削サイトにおいて DOE 国立エネルギー技術研究所により実施された。なお、DOE によれば調査結果は暫定的なものであり、調査は継続中とのこと。